



にじいろだより

2021年12月1日発行
香川県指定
子ども発達支援センターこがく

寒さも少しずつ厳しくなり、本格的な冬の訪れを感じる季節になりました。
あっという間に年内最後のひと月となりました。今月も季節の行事を大切に、
子どもちと楽しい活動をしていきたいと思います。



～11月の療育について～

アイロンビーズを使って、秋の自然物を作りました。
細かいビーズを並べ、倒れたビーズを直す微細運動、
見本を見て数や色を確認する視覚認知、集中力など
たくさんのことが体験できました。



活動の流れ

1. 基本の並べ方を体験する。

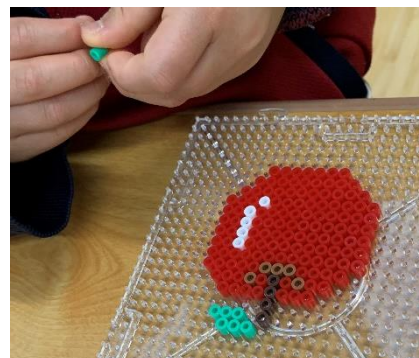
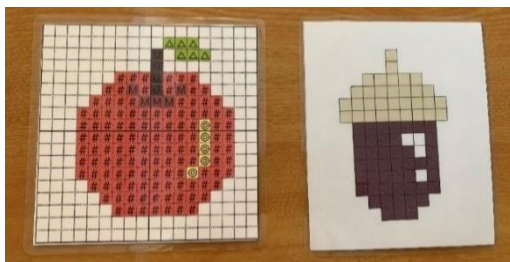
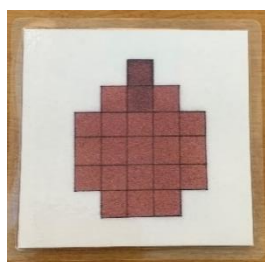
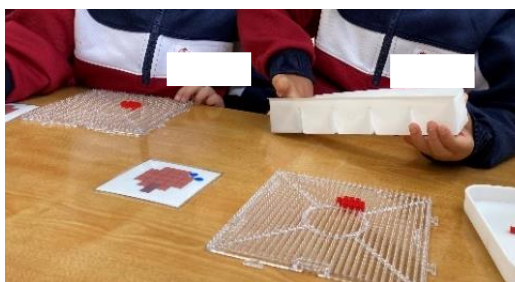
初めは、自分で選んだ型と好きな色のビーズを使い、
型の周りをビーズで2段囲います。
全て埋めて、作品を完成させる子どももいます。



2. 見本に合わせて作る。

発達段階に合わせて、小さいりんご、どんぐり、
大きいりんごに挑戦します。

扱う数に合わせて、
数ボックスを利用する等の
工夫をしながら、取り組みます。



子どもたちの作品



お知らせ

年末年始 12月28日（火）～1月4日（火）は、休所日です。



編集後記

今月号は、9月から支援センターで勤務しております岩橋優花が担当しました。編集後記では、私の好きなことについてお話をさせていただこうと思います。

新型コロナウイルスが流行し始め、マスク不足が話題になった頃、大学でもオンライン授業が中心になりました。その時、マスクをミシンで縫ったことがきっかけで、ミシンを使って物づくりをすることが好きになりました。

今は、SNSやハンドメイドの本を読み、「作りたい!」と思ったものを、製作しています。

最近の作品では、アンパンマンのフェルトマスコット、ボタン練習のためにライオン、はらぺこあおむしの教材を作りました。

これからも療育で使えるものを作り、子どもたちに提供出来たら良いなと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



岩橋優花